

## 1. (3) ④-4 東京都心部における生態系ネットワークに資する緑地の保全方策検討調査

委託者：国土交通省都市局

### 1. 業務の目的

東京都心部において、既存の緑地等の統一的な創出・管理による生態系ネットワークの構築を推進するため、民間開発等により創出された緑地等の実態を把握したうえで、生態系ネットワークの形成に資する緑地のモニタリング調査を関係主体の協働で実施し、多様な主体の連携による広域的な緑地の創出・管理のための連携手法について検討を行うことを目的とする。

### 2. 業務の概要

#### (1) 都心部の開発事業周辺エリアにおける緑地環境の実態調査

主な課題は以下のとおり。

【行政側】・行政毎の緑地のネットワーク計画論の相違があり隣接行政との情報交換等が必要

- ・事業者に対して、緑のネットワーク形成にあたって地域生態系に配慮した緑化計画について指導が不十分だが、民間事業者向けガイドラインを作成中の自治体も存在 等

【民間側】・緑のネットワーク形成のベースとなる考え方や方法等、行政が先導的にとりまとめ提示すべき広域なモニタリング調査と上位計画が、民間開発に際しては重要

- ・積極的な取り組みや成果が社会的認知・事業効果につながる評価制度などの仕組みづくり

#### (2) 生態系ネットワーク形成のためのモニタリング調査の検証

##### ①リファレンス種設定の現状と課題

自然環境現況把握調査の実施状況「各主体実施のモニタリング調査 54ヶ所 50種類(鳥類)を整理したところ、「都心においてリファレンスとなる環境が見出し難い」「広域の生態系ネットワーク計画が未策定でありどのように関連性を持たせてよいのか解らない」ことが判明した。

##### ②ネットワーク計画に関する検証

民間の再開発事業による緑の創出がネットワークの創出や補強の要因になりうる可能性を検証したうえで、ネットワーク計画における骨格形成との関連について整理し、以下の3タイプに類型化した。

【骨格型】 公的施設緑地が軸の骨格を成し、民有緑地や斜面林等が点在している。

【補強型】 骨格となる公的緑地が乏しく、民有緑地により補強が必要で

ある。

【創出型】2区の計画論には位置づけは無いが、都市公園等の公的施設緑地が軸基点に有る。軸上に、今後の再開発事業が多く計画され、ネットワーク創出の期待が大きい。

(3) 官民連携・事業連携による生態系ネットワークに資する緑地の保全に向けた検討

・モニタリング結果の活用に関する検証

現況では、各主体間の連携が少ないが、官民の調査に網羅性や補完性があることが明らかとなり、①調査計画の情報を共有化する調整協議会設立、②調査結果の相互活用を可能する共有データベースの構築、③生態系ネットワークの計画への反映等を取組むべき課題として抽出した。